

第21回環境対応セミナー

仙台の川魚の現状と河川整備の最新事例

宮城教育大学教育学部理科教育講座
生物学教室 准教授 棟方有宗 氏

【テーマ設定の背景】

日本の河川は、冷水性のサケ科魚類にとっての南限域、南方系のウナギ類にとっての北限域にあたり、両者の生息域が交差する地理的特性を持つ。

宮城県の広瀬川などではイワナやサクラマスといった冷水性のサケ科魚類、温帯性のアユ、さらにニホンウナギが同一河川内に共存しており、多様な魚種が重層的に生息している。

このような多様性は、日本の河川における魚類相の豊かさを支える要因のひとつであると同時に、異なる生息環境を必要とする種が混在することによって、生態系の保全や河川管理を複雑にする要因にもなっている。

本講演では、宮城県を中心とした事例を取り上げ、日本の川魚の生態的類型化、および現状を概観する。あわせて、それぞれの類型に応じた河川整備や資源管理の在り方について、最新の知見とともに考察を試みる。

●日 時：令和7年10月20日(月) 14:30～16:30

●会 場：(株)復建技術コンサルタント(4階会議室)

仙台市青葉区錦町一丁目7-25 TEL: 022-262-1234(代)

●対 象：一般の方および官公庁、学校関係者、企業の方等、どなたでもご参加いただけます

●定 員：30名(会場)、100名(WEB会議システム)

※Web参加申込者には、後日Web講演会のURLをお送りします。

●参 加 費：無料

●締 切 日：令和7年10月10日(金)

●CPD参加票について：

・会場参加の方には、会場で配布いたします。

・Web参加者の方には、視聴されたことを確認できた方にメール送信いたします。

●主 催：(公社)日本技術士会 東北本部 宮城県支部 環境委員会

●申込方法・問合わせ：裏面の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにて「事務局」までお申込ください。
また、E-mailでも受付いたします。

◆(公社)日本技術士会 東北本部 宮城県支部 事務局

TEL 022-723-3755 FAX 022-723-3812

E-mail tohokugijutushi@nifty.com

●プログラム：

時 間	項 目	内 容
14:30～14:40	開会の辞	・（司会）宮城県支部 環境委員会委員長 千葉 岳彦
	主催者挨拶等	・宮城県支部 支部長 今村 隆広
14:40～16:10	講 演	演題：仙台の川魚の現状と河川整備の最新事例 講師：宮城教育大学教育学部理科教育講座生物学教室 准教授 棟方 有宗 氏 <経歴> 1995 年東京学芸大学卒業 2000 年東京大学農学生命科学研究科、水圏生物学（博士） 2003 年宮城教育大学生物学教室講師 <委員歴> 2016 年日本水産学会、シンポジウム企画委員会 2016 年日本生物教育学会、編集委員会
16:10～16:25	質疑応答	
16:25～16:30	閉会の辞	・宮城県支部 環境委員会委員長 千葉 岳彦

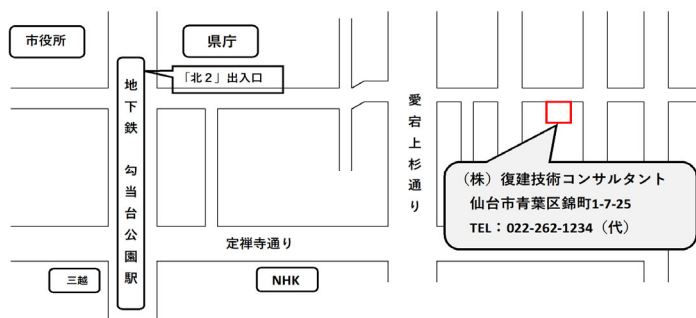
●会場のご案内： 地下鉄「勾当台公園」駅 「北2」出入口から徒歩 8 分

●ご来場には公共交通機関をご利用ください。

●会場参加者へのお願い並びに注意事項

新型コロナウイルス感染症の感染症法での位置づけが 5 類に移行しましたので、マスクの着用については個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断に委ねますが、咳エチケットを守っていただくようお願いし

ます。なお、体温が 37.5℃を超える場合や体調の悪い方は入場をご遠慮ください。



【第 21 回環境対応セミナー 参加申込書】

日本技術士会 東北本部宮城県支部 行 FAX：022-723-3812

講演題名： 『仙台の川魚の現状と河川整備の最新事例』

フリガナ 参加者氏名	技術士部門 会員番号	連絡先 TEL・ メールアドレス	学校名・会社名	参加方法
				会場 orWeb
				会場 orWeb
				会場 orWeb

※申込の際に記入して頂いた個人情報は、当セミナーの各種連絡の目的にのみ利用いたします。